

# 豊川小だより

6月号

蝌蚪(かと) 尾を得 歴史は澱まざるものぞ  
(竹下 しづの女)

ホームページ  
QRコード



令和8年5月29日  
北区立豊川小学校  
校長 中村 順子

校長 中村 順子

「蝌蚪」。見慣れない文字が気になり、思わず足を止めました。たまたま通りかかったお寺の前に書かれていた一句です。

蝌蚪(かと)とはオタマジャクシのこと。たまごから孵化したオタマジャクシにはしっぽが生えています。そして徐々に足や手が生え、やがて尾もなくなります。作者の 竹下しづの女(たけした しずのじょ)は、大正時代に育児の傍ら俳人として活躍した人物だそうです。

そのお寺の掲示板に書かれていた説明によると、彼女が子育てをする中で、「子育ても、そして歴史というものも、オタマジャクシの成長のように、澱(よど)みなく刻々と進んでいくのだ」ということを感じ、その思いをしたためた句であるとのことでした。

＊

新年度が始まって2か月が過ぎようとしています。5月半ばには、2年生と1年生がグループを組み、学校探検を行っていました。

2年生の子供たちは、事前学習で作成し各教室の入口に貼っておいた「説明書」を1年生に向かって読んだり、分かりやすい言葉で説明を加えたりと、つい先日まで1年生だったことを忘れるほど、しっかりとしたお兄さんお姉さんぶりを発揮していました。優しくエスコートをしながら校内を案内する姿や、1年生が2年生の説明を真剣に聞いている様子は、何ともほほえましく感じられました。

＊

明日5月30日(土)の運動会では、6年生はマーチングパレード(鼓笛演技)を行います。その練習は、実は昨年12月から始まっていました。

現在の6年生、当時の5年生は、楽器オーディションに向けて、また楽器の決定後も、当時の6年生から、各楽器の演奏方法や指揮棒の扱い方などについて丁寧に教えてもらっていました。その積み重ねもあり、明日の運動会では、最高学年として立派な演技を披露してくれることと思います。

学校探検、そしてマーチングパレードなどはほんの一端に過ぎませんが、様々な教育活動が、蝌蚪の成長の如く、子供たちによって澱(よど)みなく引き継がれていく素晴らしさを実感しています。

＊

リノベーション工事の完成までは、まだしばらくの時間を要します。そのため、現在の状況でできることを工夫しながら教育活動を進めていく日々が続きます。子供たちには我慢させざるを得ず、保護者や地域の皆様には今後ともご心配をおかけすることがあると思います。しかし、教職員一同、知恵を出し合い、創立151周年を迎えた豊川小学校の伝統をしっかりとつなぎながら、運動会を始めとする教育活動を、今後とも一つ一つ丁寧にやってまいります。関係する皆様方には、引き続きご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



(学校探検の風景)



(マーチングパレード 体育館での練習)